

スマクラ版バージョン2
記録システム操作マニュアル

特別養護老人ホーム
リスクマネジメント

はじめに

本書は「記録管理システム」の操作説明書です。

本書の著作権・その他知的財産権は、株式会社富士データシステムが所有しております。

当社の許可なく複製・複写・改変・配布を行うことはできません。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更する可能性があります。また本書により生じたいかなる損害についても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了解のうえ、システムをご利用ください。

登録商標について

Microsoft、Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標、または商標です。

Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple、Apple ロゴ、Mac OS、iPhone、iPod touch、iPad、iOS、および iTunes は米国アップル社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

変更履歴

版数	変更年月日	変更内容
1.0	2011年4月4日	初版作成

1. リスク記録一覧	8
当日のリスク記録を管理する	8
1. リスク記録を編集する	8
1. リスク記録を新規作成する	8
2. リスク記録を修正する	8
3. リスク記録を削除する	8
4. リスク記録を承認する	8
5. リスク記録を複写する	8
2. リスク記録一覧の表示を変更する	8
1. 表示するタイトルを絞り込む	8
2. キーワードを指定し一覧を絞り込む	8
2. 事故ヒヤリ報告書	9
「事故ヒヤリ報告書」を管理する	9
1. 「事故ヒヤリ報告書」を編集する	9
1. 「事故ヒヤリ報告書」を新規追加する	9
2. 「事故ヒヤリ報告書」を修正する	9
3. 「事故ヒヤリ報告書」を削除する	9
4. 「事故ヒヤリ報告書」を承認する	9
5. 「事故ヒヤリ報告書」を複写する	9
2. 表示形式を変更する	10
1. 帳票形式で表示する	10
2. 履歴形式で表示する	10
3. 事故ヒヤリ集計	11
「事故ヒヤリ報告書」を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する	11
1. 「事故ヒヤリ報告書」を集計する	11
1. 「事故ヒヤリ報告書」を集計する	11
2. 集計結果を分析する	12
1. 集計結果を分析する	12
2. 集計結果表を表示する	12
3. 分析条件ボタンを管理する	13
1. 分析条件を登録する	13
2. 登録した分析条件ボタンを使う	13
3. 分析条件を修正する	14
4. 分析条件を削除する	14
4. 車両事故報告書	15
「車両事故報告書」を管理する	15
1. 「車両事故報告書」を編集する	15
1. 「車両事故報告書」を新規追加する	15
2. 「車両事故報告書」を修正する	15
3. 「車両事故報告書」を削除する	15
4. 「車両事故報告書」を承認する	15
5. 「車両事故報告書」を複写する	15
2. 表示形式を変更する	16
1. 帳票形式で表示する	16
2. 履歴形式で表示する	16
5. 車両事故集計	17
「車両事故報告書」を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する	17
1. 「車両事故報告書」を集計する	17
1. 「車両事故報告書」を集計する	17
2. 集計結果を分析する	17
1. 集計結果を分析する	17
2. 集計結果表を表示する	17
3. 分析条件ボタンを管理する	18
1. 分析条件を登録する	18
2. 登録した分析条件ボタンを使う	18
3. 分析条件を修正する	18
4. 分析条件を削除する	18

6. 苦情報告書	
「苦情報告書」を管理する	19
1. 「苦情報告書」を編集する	19
1. 「苦情報告書」を新規追加する	19
2. 「苦情報告書」を修正する	19
3. 「苦情報告書」を削除する	19
4. 「苦情報告書」を承認する	19
5. 「苦情報告書」を複写する	19
2. 表示形式を変更する	20
1. 帳票形式で表示する	20
2. 履歴形式で表示する	20
7. 苦情集計	
報告書を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する	21
1. 「苦情報告書」を集計する	21
1. 「苦情報告書」を集計する	21
2. 集計結果を分析する	21
1. 集計結果を分析する	21
2. 集計結果表を表示する	21
3. 分析条件ボタンを管理する	22
1. 分析条件を登録する	22
2. 登録した分析条件ボタンを使う	22
3. 分析条件を修正する	22
4. 分析条件を削除する	22
8. 身体拘束記録表	
利用者ごとの身体拘束記録を 24 時間のタイムスケールで表示する	23
1. 身体拘束記録表を確認する	23
1. 身体拘束記録表を確認する	23
2. 表示形式を変更する	23
1. 記録のない行を非表示にする	23
2. 記録のない日を非表示にする	23

操作マニュアルシリーズは、初心者の方でも操作方法を習得することができるよう業務メニューごとに構成された操作説明書です。

本書の構成

本書は、各ナビゲーション及びファンクションごとに章構成されています。操作手順は、番号を付けた操作画面とともに掲載することでわかりやすく解説しています。※本書の操作に入る前に、操作マニュアルシリーズ【基本操作マニュアル】にて基本的な使い方をご確認ください。ページ構成は次のとおりです。

ナビゲーション及びファンクション機能を表しています。各業務メニューから、該当するナビゲーションまたはファンクションボタンをクリックすると、目的の画面に切り替わります。
(本文中表記 「(業務メニュー) / (ボタン名)」)

他のマニュアルにて詳細が記述されている内容については、参照先のマニュアル情報を記載しています。

日常記録管理（入所）

12. 総合一覧

すべての記録を一覧で表示する

1. 各種条件を元に一覧を絞り込む

各種条件を元に一覧を絞り込む方法を説明します。

1. タイトルを指定し一覧を絞り込む

▶ 基本操作 > 5.3. タイトルフィルタを使用する

- ① 「タイトルフィルタ」ボタンをクリックします。

2. 選択した任意の行のみ表示する

- ① 任意の行をクリックすると、選択状態（水色）になります。（複数選択可能）
同じ行を再度クリックするおとで選択解除できます。
- ② チェックボックス「選択行のみ表示」にレ点を付けると、選択した行のみ表示されます。
- ③ 絞り込みを解除する場合は、レ点を外します。

② レ点を付ける 選択行のみ表示




氏名	開始	終了	外食	食事	水分	排泄	体温	血圧	脈拍	入浴	記録内容	記録者
愛知麻子	07:00		<input checked="" type="checkbox"/>	朝食	7	0	300				【介助】一部介助、【場所】お風呂	香山優一
	10:00		<input checked="" type="checkbox"/>	排泄量							【排泄方法】トイレ、【介助】一部介助、【原計量】300cc	香山優一
愛知麻子	11:00		<input checked="" type="checkbox"/>	体重測定				35	120/78	86	【体重】58kg、【身長】167cm、【BMI】20.1	香山優一
	11:00		<input checked="" type="checkbox"/>	入浴							【方法】普通浴、【介助】一部介助	香山優一
愛知麻子	12:00		<input checked="" type="checkbox"/>	昼食	8	0	158				【介助】一部介助、【場所】お風呂	香山優一
	18:00		<input checked="" type="checkbox"/>	夕食	7	0	300				【介助】一部介助、【場所】お風呂	香山優一

小区分

説明項目

手順

1. リスク記録一覧

当日のリスク記録を管理する

1. リスク記録を編集する

リスク記録を追加・修正・削除・承認・複写する方法を説明します。

1. リスク記録を新規作成する

▶基本操作> 3. 1. 記録を新規作成する

- ① リスク記録を追加します。

2. リスク記録を修正する

▶基本操作> 3. 2. 記録を修正する

- ① 保存済みのリスク記録を修正します

3. リスク記録を削除する

▶基本操作> 3. 3. 記録を削除する

- ① 保存済みのリスク記録を削除します。

4. リスク記録を承認する

▶基本操作> 3. 4. 記録を承認する

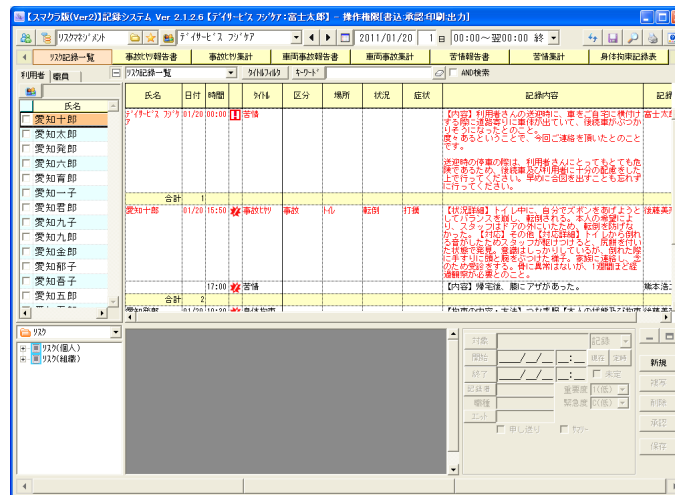
- ① リスク記録を承認し、修正履歴を残します。

承認することにより、承認後のすべての修正履歴が残ります。また、記録を削除した場合でも記録検索ツールで確認できるようになります。

5. リスク記録を複写する

▶基本操作> 3. 5. 記録を複写する

- ① 保存済みのリスク記録を複写します。



2. リスク記録一覧の表示を変更する

リスク記録一覧エリアの表示を目的に合わせて変更できます。

1. 表示するタイトルを絞り込む

▶基本操作> 5. 3. タイトルフィルタを使用する

- ① 「タイトルフィルタ」 ボタンをクリックします。

2. キーワードを指定し一覧を絞り込む

▶基本操作> 5. 4. キーワードフィルタを使用する

- ① キーワードを入力します。

2. 事故ヒヤリ報告書

「事故ヒヤリ報告書」を管理する

1. 「事故ヒヤリ報告書」を編集する

「事故ヒヤリ報告書」を作成する操作方法を説明します。

アセスメントエージェント機能を使って最新の事故ヒヤリ記録を転記します。

1. 「事故ヒヤリ報告書」を新規追加する

- ① 「事故ヒヤリ報告書」を新規作成します。 ▶基本操作> 4. 1. 帳票を新規作成する
- ② 「アセスメントエージェント」ボタンをクリックします。 ▶基本操作> 4. 6. アセスメントエージェント機能を使用する
- ③ 転記されない内容を直接入力します。
- ④ 「保存」ボタン、またはピンをクリックします。

2. 「事故ヒヤリ報告書」を修正する

▶基本操作> 4. 2. 帳票を修正する

- ① 保存済みの「事故ヒヤリ報告書」を修正します。

3. 「事故ヒヤリ報告書」を削除する

▶基本操作> 4. 3. 帳票を削除する

- ① 保存済みの「事故ヒヤリ報告書」を削除します。

4. 「事故ヒヤリ報告書」を承認する

▶基本操作> 4. 4. 帳票を承認する

- ① 「事故ヒヤリ報告書」を承認し、修正履歴を残します。
承認することにより、承認後のすべての修正履歴が残ります。また、該当の「事故ヒヤリ報告書」を削除した場合でも記録検索ツールで確認できるようになります。

5. 「事故ヒヤリ報告書」を複写する

▶基本操作> 4. 5. 帳票を複写する

- ① 保存済みの「事故ヒヤリ報告書」を複写します。

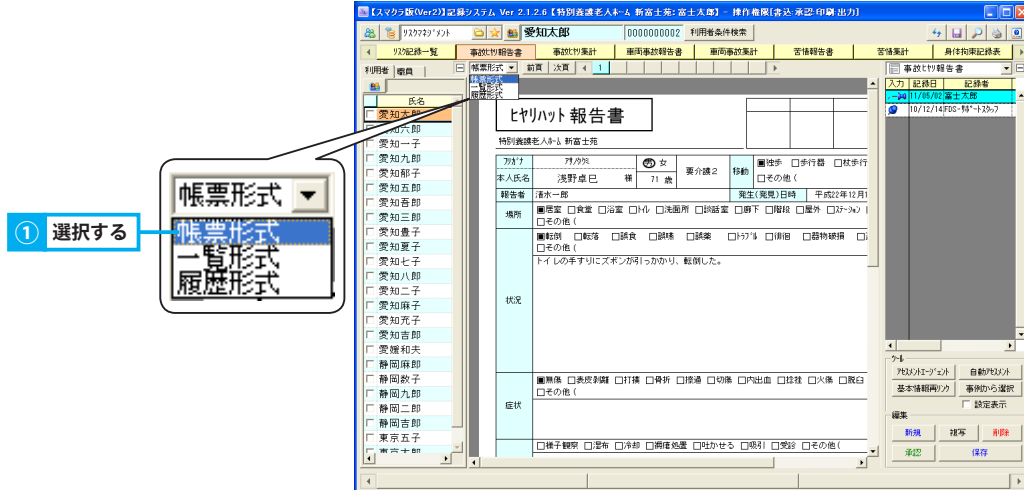


2. 表示形式を変更する

「事故ヒヤリ報告書」の内容を確認しやすくするために表示形式を変更する方法を説明します。

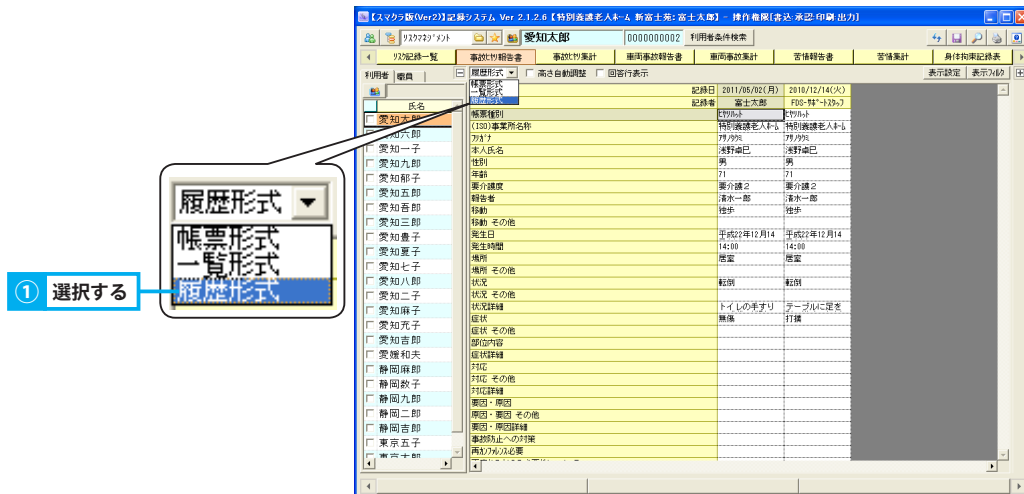
1. 帳票形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「帳票形式」を選択します。通常の表示モードです。
- ② 「事故ヒヤリ報告書」の印刷レイアウトが画面に表示されます。



2. 履歴形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「履歴形式」を選択します。
- ② 「事故ヒヤリ報告書」作成履歴が一覧で画面に表示されます。



3. 事故ヒヤリ集計

「事故ヒヤリ報告書」を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する

1. 「事故ヒヤリ報告書」を集計する

期間を指定して「事故ヒヤリ報告書」を集計する方法を説明します。集計期間は、月や年度のほかに、任意の期間指定が可能です。

1. 「事故ヒヤリ報告書」を集計する

- ① コンボボックス「集計期間」から集計する期間を選択します。
 - 日 指定・・・任意の日付を指定する
 - 月 指定・・・任意の月を指定する
 - 年 指定・・・任意の年を指定する
 - 年度指定・・・任意の年度を指定する（4月初日から翌年3月末日まで）
 - 期 指定・・・任意の開始月から3ヶ月間
 - 期間指定・・・任意の開始・終了日を指定する
- ② 選択した期間に応じて、集計期間入力枠に集計対象日付を入力します。 ▶基本操作> 2.16. 日時・期間を指定する
- ③ 「対象追加」ボタンをクリックし、利用者を選択します。 ▶基本操作> 2.9. 対象者検索機能を使用して利用者を選択する
- ④ 集計対象者が集計結果一覧エリアに表示されます。
- ⑤ 対象者を削除する場合は、集計結果一覧で削除対象者を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
削除確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑥ 「集計実行」ボタンをクリックします。
- ⑦ 集計結果が集計結果一覧エリアに反映されます。

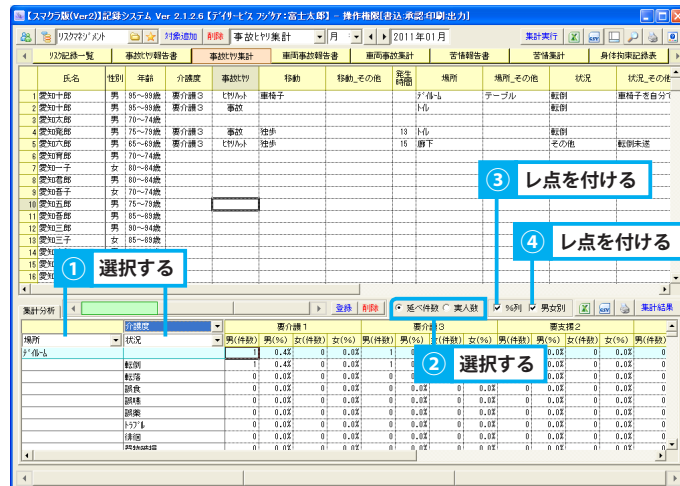
The screenshot illustrates the software's workflow for accident reporting. It shows a user navigating through a menu to select a specific period for counting. The interface then displays a list of users, with a callout indicating that a user is selected. Finally, the 'Execute Counting' button is clicked, and the resulting data is shown in a summary table at the bottom of the screen.

2. 集計結果を分析する

集計結果を、各項目ごとに分析する方法を説明します。

1. 集計結果を分析する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 【延べ件数】 / 【実人数】 のいずれかのラジオボタンを選択します。
- ③ チェックボックス「%列」にレ点を付けると、延べ件数または実人数全体に対する割合を表示します。
- ④ チェックボックス「男女別」にレ点を付けると、延べ件数または実人数を男女別に表示します。



2. 集計結果表を表示する

- ① 「集計結果」ボタンをクリックすると、「集計結果表」が表示されます。各項目ごとに件数や割合が一覧表示されます。



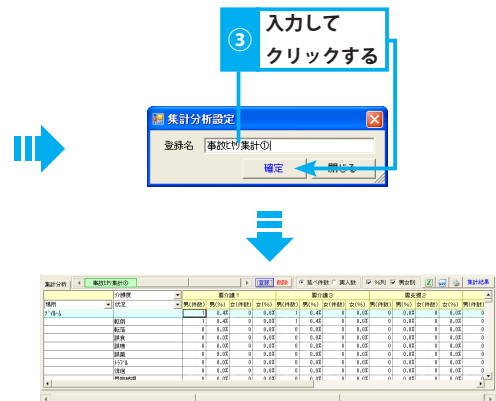
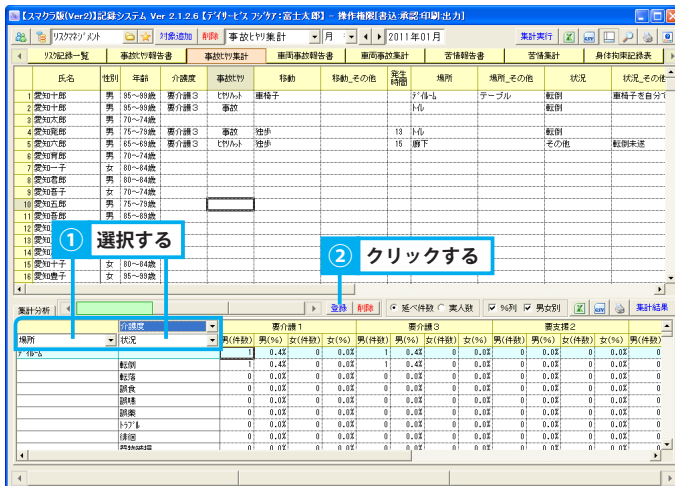
集計結果表		集計期間：2011年01月01日～2011年01月31日	
		合計 (男女別)	
性別	件数	男(%)	女(%)
合計	112	49.9%	51.1%
性別			
男	112	49.9%	51.1%
女	0	0.0%	0.0%
年齢			
40歳未満	6	5.4%	4.6%
40～49歳	0	0.0%	0.0%
50～59歳	0	0.0%	0.0%
60～64歳	0	0.0%	0.0%
65～69歳	31	27.7%	25.9%
70～74歳	29	25.9%	27.7%
75～79歳	16	14.3%	15.0%
80～84歳	12	10.7%	11.3%
85～89歳	12	10.7%	11.3%
90～94歳	3	2.7%	2.9%
95～99歳	0	0.0%	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0.0%
介護度			
要介護1	1	0.9%	1.0%
要介護2	4	3.6%	3.9%
要介護3	0	0.0%	0.0%
要介護4	107	95.5%	95.1%
要介護5	0	0.0%	0.0%
転倒	2	1.8%	2.0%
転落	0	0.0%	0.0%
誤食	0	0.0%	0.0%
誤薬	0	0.0%	0.0%
けが	112	100.0%	100.0%
歩行器	0	0.0%	0.0%
車椅子	1	0.9%	1.0%

3. 分析条件ボタンを管理する

よく使う分析条件は、保存してボタンに配置し再利用できます。

1. 分析条件を登録する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 「登録」ボタンをクリックします。
- ③ 登録名称を入力して「確定」をクリックします。
- ④ 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑤ 分析条件ボタンが作成されます。



2. 登録した分析条件ボタンを使う

- ① 任意の分析条件ボタンをクリックします。
- ② 分析条件ボタンに設定された項目が反映されます。



リスクマネジメント（特別養護老人ホーム）

3. 分析条件を修正する

- 修正する分析条件ボタンを選択します。
- 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- 「登録」ボタンをクリックします。
- 登録名称を変更せずに「確定」をクリックします。
- 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

The screenshot shows the software interface for editing analysis conditions. It consists of three main parts:

- 1 選択する (Select):** A table with columns for name, sex, age, etc. A blue box highlights the '編集' (Edit) button for the first row.
- 2 選択する (Select):** A dialog box for selecting analysis items. Blue boxes highlight the '項目' (Item) and '集計項目' (Aggregation Item) dropdown menus.
- 3 クリックする (Click):** A dialog box for registering the analysis condition. A blue box highlights the '登録' (Register) button.
- 4 クリックする (Click):** A confirmation dialog box asking '集計分析設定を削除します。よろしいですか?' (Delete analysis settings. Is it okay?). A blue box highlights the 'はい(Y)' (Yes) button.

4. 分析条件を削除する

- 削除する分析条件ボタンを選択します。
- 「削除」ボタンをクリックします。
- 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。
- 分析条件ボタンが削除されます。

The screenshot shows the software interface for deleting an analysis condition. It consists of three main parts:

- 1 選択してクリックする (Select and Click):** A table with columns for name, sex, age, etc. A blue box highlights the '削除' (Delete) button for the first row.
- 2 確認 (Confirmation):** A dialog box asking '集計分析設定を削除します。よろしいですか?' (Delete analysis settings. Is it okay?). A blue box highlights the 'はい(Y)' (Yes) button.

4. 車両事故報告書

「車両事故報告書」を管理する

1. 「車両事故報告書」を編集する

「車両事故報告書」を作成する操作方法を説明します。

1. 「車両事故報告書」を新規追加する

▶基本操作> 4. 1. 帳票を新規作成する

- ① 組織リストから対象のユニットを選択します。
「車両事故報告書」を新規作成します。

2. 「車両事故報告書」を修正する

▶基本操作> 4. 2. 帳票を修正する

- ① 保存済みの「車両事故報告書」を修正します。

3. 「車両事故報告書」を削除する

▶基本操作> 4. 3. 帳票を削除する

- ① 保存済みの「車両事故報告書」を削除します。

4. 「車両事故報告書」を承認する

▶基本操作> 4. 4. 帳票を承認する

- ① 「車両事故報告書」を承認し、修正履歴を残します。
承認することにより、承認後のすべての修正履歴が残ります。また、該当の「車両事故報告書」を削除した場合でも記録検索ツールで確認できるようになります。

5. 「車両事故報告書」を複写する

▶基本操作> 4. 5. 帳票を複写する

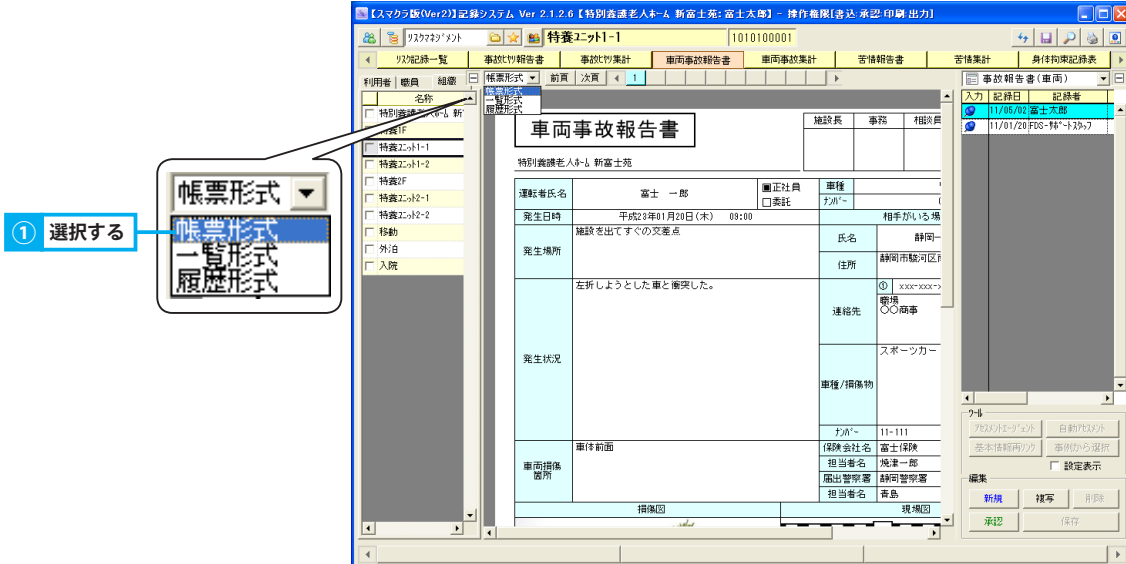
- ① 保存済みの「車両事故報告書」を複写します。

2. 表示形式を変更する

「車両事故報告書」の内容を確認しやすくするために表示形式を変更する方法を説明します。

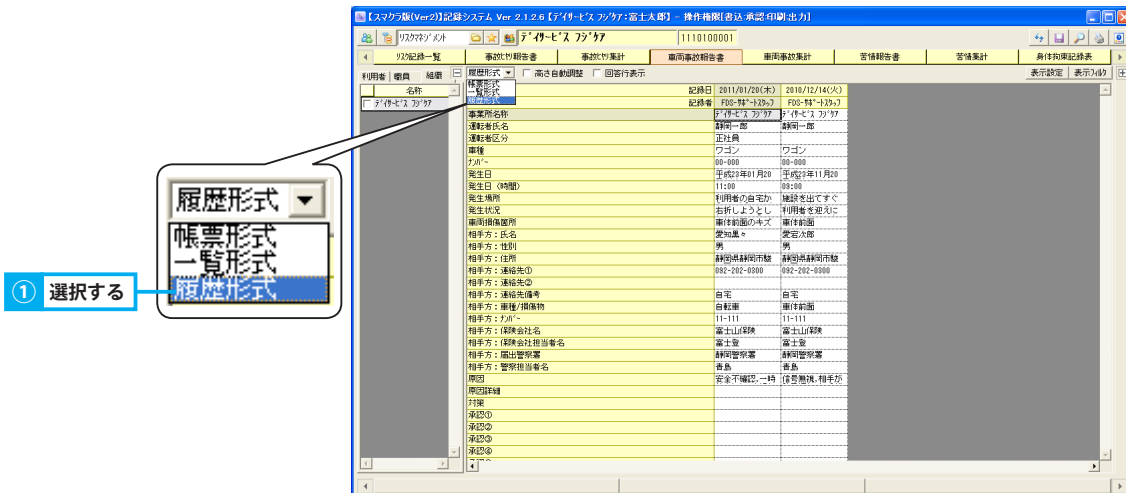
1. 帳票形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「帳票形式」を選択します。通常の表示モードです。
- ② 「車両事故報告書」の印刷レイアウトが画面に表示されます。



2. 履歴形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「履歴形式」を選択します。
- ② 対象ユニットの「車両事故報告書」作成履歴が一覧で画面に表示されます。



5. 車両事故集計

「車両事故報告書」を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する

※ 現在、集計はできません。バージョンアップで対応予定です。

1. 「車両事故報告書」を集計する

期間を指定して「車両事故報告書」を集計する方法を説明します。集計期間は、月や年度のほかに、任意の期間指定が可能です。

1. 「車両事故報告書」を集計する

- ① コンボボックス「集計期間」から集計する期間を選択します。
 - 日 指定・・・任意の日付を指定する
 - 月 指定・・・任意の月を指定する
 - 年 指定・・・任意の年を指定する
 - 年度指定・・・任意の年度を指定する（4月初日から翌年3月末日まで）
 - 期 指定・・・任意の開始月から3ヶ月間
 - 期間指定・・・任意の開始・終了日を指定する
- ② 選択した期間に応じて、集計期間入力枠に集計対象日付を入力します。 ▶基本操作> 2.16. 日時・期間を指定する
- ③ 「対象追加」ボタンをクリックし、ユニットを選択します。 ▶基本操作> 2.8. 対象者選択機能を使用して組織を選択する
- ④ 集計対象者が集計結果一覧エリアに表示されます。
- ⑤ 対象者を削除する場合は、集計結果一覧エリアで削除対象者を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
削除確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑥ 「集計実行」ボタンをクリックします。
- ⑦ 集計結果が集計結果一覧エリアに反映されます。

2. 集計結果を分析する

集計結果を、各項目ごとに分析する方法を説明します。

1. 集計結果を分析する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 【延べ件数】／【実人数】のいずれかのラジオボタンを選択します。
- ③ チェックボックス「%列」にレ点を付けると、延べ件数または実人数全体に対する割合を表示します。
- ④ チェックボックス「男女別」にレ点を付けると、延べ件数または実人数を男女別に表示します。

2. 集計結果表を表示する

- ① 「集計結果」ボタンをクリックすると、「集計結果表」が表示されます。各項目ごとに件数や割合が一覧表示されます。

3. 分析条件ボタンを管理する

よく使う分析条件は、保存してボタンに配置し再利用できます。

1. 分析条件を登録する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 「登録」ボタンをクリックします。
- ③ 登録名称を入力して「確定」をクリックします。
- ④ 確認メッセージ画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑤ 分析条件ボタンが作成されます。

2. 登録した分析条件ボタンを使う

- ① 任意の分析条件ボタンをクリックします。
- ② 分析条件ボタンに設定された項目が反映されます。

3. 分析条件を修正する

- ① 修正する分析条件ボタンを選択します。
- ② 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ③ 「登録」ボタンをクリックします。
- ④ 登録名称を変更せずに「確定」をクリックします。
- ⑤ 確認メッセージ画面で「はい」をクリックします。

4. 分析条件を削除する

- ① 削除する分析条件ボタンを選択します。
- ② 「削除」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージ画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
- ④ 分析条件ボタンが削除されます。

6. 苦情報告書

「苦情報告書」を管理する

1. 「苦情報告書」を編集する

「苦情報告書」を作成する操作方を説明します。

1. 「苦情報告書」を新規追加する

▶基本操作> 4. 1. 帳票を新規作成する

- ① 「苦情報告書」を新規作成します。

2. 「苦情報告書」を修正する

▶基本操作> 4. 2. 帳票を修正する

- ① 保存済みの「苦情報告書」を修正します。

3. 「苦情報告書」を削除する

▶基本操作> 4. 3. 帳票を削除する

- ① 保存済みの「苦情報告書」を削除します。

4. 「苦情報告書」を承認する

▶基本操作> 4. 4. 帳票を承認する

- ① 保存済みの「苦情報告書」を承認します。

5. 「苦情報告書」を複写する

▶基本操作> 4. 5. 帳票を複写する

- ① 保存済みの「苦情報告書」を複写します。

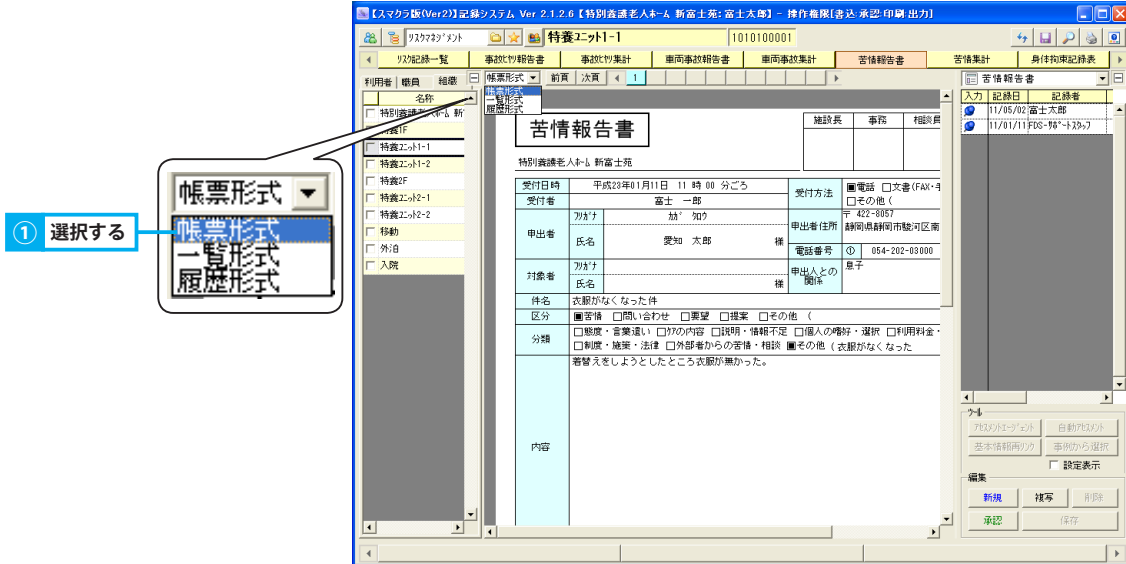


2. 表示形式を変更する

記録を確認しやすくするために表示形式を変更する方法を説明します。

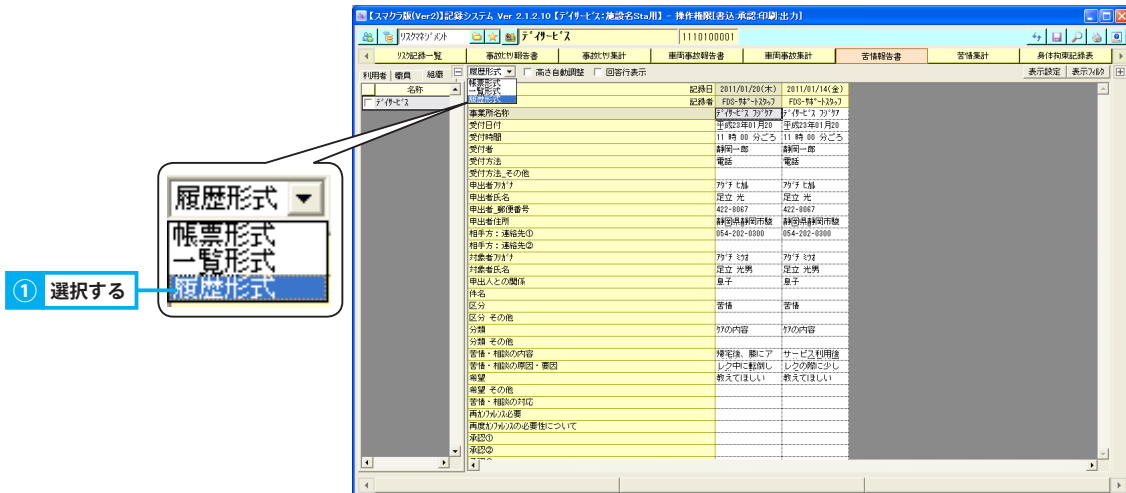
1. 帳票形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「帳票形式」を選択します。通常の表示モードです。
- ② 「苦情報告書」の印刷レイアウトが画面に表示されます。



2. 履歴形式で表示する

- ① コンボボックス「表示モード」から「履歴形式」を選択します。
- ② 報告書作成履歴が一覧で画面に表示されます。



7. 苦情集計

報告書を期間指定して集計し、各項目ごとに分析する

※ 現在、集計はできません。バージョンアップで対応予定です。

1. 「苦情報告書」を集計する

期間を指定して報告書を集計する方法を説明します。集計期間は、月や年度のほかに、任意の期間指定が可能です。

1. 「苦情報告書」を集計する

- ① コンボボックス「集計期間」から集計する期間を選択します。
 - 日 指定・・・任意の日付を指定する
 - 月 指定・・・任意の月を指定する
 - 年 指定・・・任意の年を指定する
 - 年度指定・・・任意の年度を指定する（4月初日から翌年3月末日まで）
 - 期 指定・・・任意の開始月から3ヶ月間
 - 期間指定・・・任意の開始・終了日を指定する
- ② 選択した期間に応じて、集計期間入力枠に集計対象日付を入力します。 ▶基本操作> 2.16. 日時・期間を指定する
- ③ 「対象追加」ボタンをクリックし、利用者を選択します。 ▶基本操作> 2.8. 対象者選択機能を使用して組織を選択する
- ④ 集計対象者が一覧表示エリアに表示されます。
- ⑤ 対象者を削除する場合は、集計結果一覧エリアで削除対象者を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
削除確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑥ 「集計実行」ボタンをクリックします。
- ⑦ 集計結果が一覧表示エリアに反映されます。

2. 集計結果を分析する

集計結果を、各項目ごとに分析する方法を説明します。

1. 集計結果を分析する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 【延べ件数】／【実人数】のいずれかのラジオボタンを選択します。
- ③ チェックボックス「%列」にレ点を付けると、延べ件数または実人数全体に対する割合を表示します。
- ④ チェックボックス「男女別」にレ点を付けると、延べ件数または実人数を男女別に表示します。

2. 集計結果表を表示する

- ① 「集計結果」ボタンをクリックすると、「集計結果表」が表示されます。
各項目ごとに件数や割合が一覧表示されます。

3. 分析条件ボタンを管理する

よく使う分析条件は、保存してボタンに配置し再利用できます。

1. 分析条件を登録する

- ① 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ② 「登録」ボタンをクリックします。
- ③ 登録名称を入力して「確定」をクリックします。
- ④ 確認メッセージ画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
- ⑤ 分析条件ボタンが作成されます。

2. 登録した分析条件ボタンを使う

- ① 任意の分析条件ボタンをクリックします。
- ② 分析条件ボタンに設定された項目が反映されます。

3. 分析条件を修正する

- ① 修正する分析条件ボタンを選択します。
- ② 分析に使用する項目を、縦軸横軸の各コンボボックスから選択します。
- ③ 「登録」ボタンをクリックします。
- ④ 登録名称を変更せずに「確定」をクリックします。
- ⑤ 確認メッセージ画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

4. 分析条件を削除する

- ① 削除する分析条件ボタンを選択します。
- ② 「削除」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージ画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
- ④ 分析条件ボタンが削除されます。

8. 身体拘束記録表

利用者ごとの身体拘束記録を 24 時間のタイムスケールで表示する

1. 身体拘束記録表を確認する

身体拘束記録を時系列で確認する方法を説明します。

1. 身体拘束記録表を確認する

- ① 拘束時間帯が青色の帯で表示されます。
任意の帯にマウスポインタを合わせると、身体拘束記録内容が表示されます。

利用者	氏名	拘束日時	拘束理由
愛知十郎	愛知十郎	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知次郎	愛知次郎	2011/01/20(木) 拘束時間	排便及び拘束理由
愛知六郎	愛知六郎	2011/01/20(木) 拘束時間	排便及び拘束理由
愛知育郎	愛知育郎	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知一子	愛知一子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知三子	愛知三子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知五子	愛知五子	2011/01/20(木) 拘束時間	排便及び拘束理由 [10:30]おむついじりがあり、家族の希望にて実施
愛知七子	愛知七子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知八子	愛知八子	2011/01/20(木) 拘束時間	排便及び拘束理由 [10:00]体をかいて、皮膚を破ってしまうため
愛知九子	愛知九子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十子	愛知十子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十一子	愛知十一子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十二子	愛知十二子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十三子	愛知十三子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十四子	愛知十四子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十五子	愛知十五子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十六子	愛知十六子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十七子	愛知十七子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十八子	愛知十八子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知十九子	愛知十九子	2011/01/20(木) 拘束時間	
愛知二十子	愛知二十子	2011/01/20(木) 拘束時間	

① マウスポインタを合わせる

2. 表示形式を変更する

一覧を確認しやすくするために表示形式を変更する方法を説明します。

1. 記録のない行を非表示にする

- ① チェックボックス「記録の無い行は非表示」にチェックを付けます。
- ② 身体拘束記録がない利用者の拘束時間行が非表示となります。

2. 記録のない日を非表示にする

- ① チェックボックス「記録の無い日は非表示」にチェックを付けます。
- ② 身体拘束記録がない利用者の日付行と拘束時間行が非表示となります。